

すずがも通信

2018年6月10日発行

ISSN 2185 632X

トビハゼの日

2018年6月16日(土) 10時~15時 ※雨天翌日

場所:旧行徳野鳥観察舎周辺

この日限り!!

保護区内の導流堤の一部を開放!

国内最北端のトビハゼを
知り尽くせ!



トビハゼのすみか

観察会



色塗り

↓当日お持ち頂くとガチャができます↓
きりとり

ガチャ券

(ガチャはなくなり次第終了)



新しい市長が誕生しました

今年4月22日に市川市長の再選挙が行われた結果、村越祐民市長が誕生しました。村越市長は選挙以来ずっと、観察舎の再開を掲げておられます。全国の自治体同様、市川市も課題が山積している中ではありますが、私たちのホームグラウンドに前向きな視線を投げかけてくださる方が市長となられたことは、明るい材料です。

休館直後の千葉県への要望書をはじめ、私たち友の会がこれまで一貫して皆さんに伝えようとしてきたことは、保護区の素晴らしい景観を見渡し水鳥を観察することで湿地環境の重要性を容易に学ぶことができる拠点の必要性です。また、団体見学者のほか、付近の自然観察や散歩等で通る数多くの方にとっても、トイレが足りないのは大きな支障です。これも、行政には幾度となく伝え、行政を含む様々な方のご尽力で仮設トイレが設置されるなどしていますが、もちろん十分ではありません。

村越新市長の誕生後も、こういった「伝えたい内容」が大きく変わることはないでしょう。でも、行政への伝え方や伝えるときの窓口は、大きく変わるかもしれません。そういった意味で、私たちは柔軟性のある「体力」を試されるのかもしれません。 (清水 大悟)

☆最近の保護区作業～長靴池観察路畦の改修～☆



長靴池・竹内ヶ原間から浄化池へ抜ける観察路は、保護区内陸部のほぼ中央を南北に通り返ることができるので観察会等の案内や調査などでも良く使われていましたが、昨年10月に一部の畦の角部分がひび割れて池側に崩れてきてしまい、以降通行止めになっていました。池側に杭を立てて足場板を張り土留めすることにし、年明けに一度こちらで挑戦してみたものの、底の地質が固いのか杭が十分に打ち込めず

ユンボを使い押し込もうとするとユンボの方が浮き上がってしまうため中止。その後建設業者さんに相談した所、方法自体は間違っていないそうなので杭を打ち込むのを依頼することに。

3月末に杭打ちをお願いし、こちらは4月上旬にかけて杭に土留め用の板を張り、さらに土や土のうで隙間を埋め固めて完成。その後県の方に確認・許可を貰いGW中からやっと通行が可能になりました。ここまで大きな改修は震災復旧工事以降だと三島池改修以来ですね。保護区もできてから50年以上経ちますので今後もこういったことが起きるかもしれません。でも今回のことで直す方法も学んだので何とかしていけるかな・・・? (山口 誠)



3月30日



3月31日

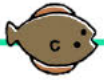


4月1日

夏休みイベント満載！

集合：旧行徳野鳥観察舎（写真展は除く）

お問い合わせ：047-397-9046 tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp



江戸前干潟研究学校



7月22日(日) 10時～14時 荒天中止

保護区の池や海岸に網を一昼夜設置して採集した水生生物を調べる調査イベントです。

もしかしたらギマが獲れるかも！？

※当日受付・参加費無料・要昼食



フィールドミュージアム



7月29日(日) 10時～14時 「夏休み自由研究」 荒天中止

保護区小島岬を中心に海岸部の生き物のワークシート作りや、拾った貝殻でミニ標本作りを行います。

※当日受付・定員30名程度

参加費50円・要昼食



虫捕り観察会



8月4日(土) 10時～12時 小雨決行

保護区でいろんな虫を探してみよう！捕まえてみよう！

捕まえたらみんなで観察をして、虫たちの不思議を発見しよう！

※捕まえた虫は保護区の外には持ち出せません。必ず放してからお帰り下さい。

※お子様が幼稚園～小学生のご家族対象・定員10組/要申込・要参加費(1組ずつ)

(詳細はお問い合わせください)

<持ち物>虫取り網・帽子・飲み物

行徳鳥獣保護区写真展 2018

「湿地のにぎわい」

保護区や浦安市の野鳥や生き物を紹介する企画展。写真のほかにも様々な展示物を用意しています。※土曜日には14時から1～2時間ほど、展示についての解説を行います。

第1弾：浦安市郷土博物館 7月20日(土)～8月31日(土)

(浦安市郷土博物館・浦安野鳥の会共催)

第2弾：市川市動植物園 9月のシルバーウィークごろ

第3弾：市川駅南口図書館 1月予定

セミ羽化観察会

8月11日(土・祝) 18時半～20時半 旧行徳野鳥観察舎周辺 雨天中止

毎年恒例、セミの羽化を観察するイベント。7年間この日を待ちわびたセミたちが、目の前で命がけで羽化をします。その神秘の瞬間を、ぜひその目でごらんください。

※当日受付・参加費1組300円



夜の生き物観察会

8月18日(土) 19時～20時半 保護区内 荒天翌日

夜の保護区で光に集まる虫たちを観察します。

去年はバッタ、ガ、カナブンにクワガタなどなど盛沢山でした。

さあ今年は何が集まってくるでしょう？

※定員30名/要申込

大人200円、中高生100円、

小学生以下無料



保護区の虫たち

今年の3月の調査でトビモンオオエダシャクの雄が2頭見つかった。本種の幼虫は観察会や調査などで何度も目にするが、成虫は実は保護区内初記録だった。成虫は3月上旬～中旬にかけて各地の灯火に飛来するので壁やコンビニの窓などに静止しているのを見かけるが、林の中などではなかなかお目にかかれない。しかも本種の成虫はでかい。何しろまだ大型の蛾が少ない時期に出るので目立つ(シャクガなのに雌だとウンモンズズメやサザナミスズメよりでかい)し、幼虫も体長7cmにもなる木の枝そっくりの巨大シャクトリムシ(普通のシャクガの幼虫はでかくて4~5cmほど)で行徳に生息するシャクガ科では本種が一番でかかった。

ところが去年のライトトラップの時にさらにでかいシャクガの幼虫が発見された。ウスイロオオエダシャクの終齢幼虫である。終齢は体長8cmにもなるこのウスイロオオエダシャクの成虫は、もちろんトビモンオオエダシャクよりでかい。筆者は幼虫はこの時が初見で成虫は千葉市で2回しか出会ったことがない。<次号へ続く>

(福田 雄介)



トビモンオオエダシャク



ウスイロオオエダシャク



サザナミスズメ



ウンモンズズメ

＝閑話＝＊タヌキのはなし＊

今年になってタヌキを見ましたか？人ではなく、獣の方です。

保護区や観察舎前を流れる丸浜川沿いで、見かけた方も多いのではないでしょうか。先日もスタッフが保護区の中で至近距離で遭遇し、本人もですがタヌキも驚いた顔をしていました。

このタヌキ、保護区とその周辺を行ったり来たりして生活しているようです。タヌキは数頭が同じ場所に糞をする習性（溜め糞）があり、観察路の真ん中や木の根元など下草があまり生えていないところを使うので目立ちます。糞を観察すると何を食べたのかが分かります。保護区で生活しているザリガニや虫、植物の種など。時には、ドッグフードもあるので、保護区の中だけではなく住宅地の方にも行っているようです。

この溜め糞にセンサーカメラを設置したところ、タヌキはもちろんですが、ネズミが消化されずに出てきた植物の種を食べに来ている様子が観察されたことから、他の生き物の餌場としても利用されていることが分かりました。

これらのことは、日本大学の学生さんたちがサークル活動の一環として7年ほど前から行っている調査から分かってきました。友の会は、これからもタヌキ好き・哺乳類好きの仲間を増やしていった情報交換などを出来たらいいなと考えています。（タヌキ調査助っ人 さとゆ）

<溜め糞のセンサーカメラ画像>



タヌキ用足し中



ネズミごはん物色中



ヒクイナごはんついばみ中

3・4月 保護区の鳥の様子 ~「初めて」いろいろ~

2018年3月から4月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で59種を記録しました。夏鳥が渡って来ました。ツバメ（初認日3/17）、コチドリ（3/25）、オオヨシキリ（4/23）でした。

また、多くの鳥の繁殖期でもあります。保護区でシジュウカラ、ハシブトガラスが巣作りしている様子が確認されました。エナガの若鳥が行徳高校付近で確認されており保護区もしくは近隣で繁殖した様子です。これらのことは20年間では初めての事です。カワウの雛の声が対岸にもよく聞こえ、親ほども大きなものもいます。アオサギは、今季は北池で営巣が確認されていないもののカワウコロニー内に少なくとも14巣。ダイサギも営巣が確認されています。

水鳥類

オカヨシガモ	ゴイサギ
カルガモ	アオサギ
ハシビロガモ	ダイサギ
コガモ	コサギ
ホシハジロ	バン
キンクロハジロ	オオバン
スズガモ	コチドリ
ウミアイサ	タシギ
カイツブリ	イソシギ
カンムリカイツブリ	ユリカモメ
ハジロカイツブリ	セグロカモメ
カワウ	

その他小鳥など

キジバト	ムクドリ
カワセミ	シロハラ
コゲラ	ツグミ
モズ	ジョウビタキ
オナガ	キビタキ
ハシボソガラス	スズメ
ハシブトガラス	ハクセキレイ
シジュウカラ	カワラヒワ
ツバメ	ベニマシコ
ヒヨドリ	シメ
ウグイス	ホオジロ
エナガ	アオジ
メジロ	オオジュリン
オオヨシキリ	ドバト
セッカ	

猛禽類

ミサゴ
トビ
チュウヒ
ハイタカ
オオタカ
ノスリ



エナガ若鳥
(写真提供：福田氏)

野鳥救護(ぶち)につき

救護施設の横に設置されていた OK 牧場が観察舎解体工事に伴って撤去されることになったため、収容されていたチョウゲンボウ 3 羽が県内の鳥獣救護ボランティアさんにそれぞれ引き取られていきました。元気でね！

♪♪♪ イベント案内 ♪♪♪

●→雨天中止 ★→荒天中止 ☆→小雨決行

●ボランティアデー(毎月第 4 土曜) 祝日も開催

スタッフと一緒に保護区の管理作業をしてみませんか？

6/23(土)、7/28(土) 13 時～16 時ごろ

集合：旧行徳野鳥観察舎前

作業内容は未定。開催日の 3 日前～前日に

下記連絡先にてご確認ください。お楽しみに！

* (前回)



3/24 6系水路掘下げ
(参加者 7 名)

←4/28 湊池棚田堆肥
撒き
(参加者 12 名)

定例観察会

●定例園内観察会(毎週日曜・祝日)

集合：旧行徳野鳥観察舎前 13 時半～15 時半

★定例新浜探鳥会(毎月第 2 日曜日) 7 月 8 日、8 月 12 日

集 合：行徳駅前の広場(改札出て左) 10 時～ 持ち物：昼食、飲み物、帽子

参加費：200 円(18 歳未満は無料) 「放水路経由コース」は+バス代 400 円(子供 200 円)

・「新浜保護区コース」保護区内→旧観察舎前/解散 13 時半

・「放水路経由コース」バスで江戸川水路まで→保護区内→旧観察舎前/解散 15 時半

◎主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京、千葉県野鳥の会

☆夕暮れ観察会(毎月第 4 土曜日) 6 月 23 日、7 月 28 日

集合：旧行徳野鳥観察舎前 16 時半～18 時半

●平日観察会(第 1 木曜日 ※祝日の場合は翌週) 7 月 5 日、8 月 2 日

集合：旧行徳野鳥観察舎前 10 時～12 時

●ミニガイド(毎週土曜日 ※第 4 土曜日・祝日・イベントがある日はお休み)

集合：旧行徳野鳥観察舎 13 時半～14 時

すずがも通信 No.230(隔月発行) 2018 年 6 月 10 日発行 * * * * * * * * * * * *

発行所

特定非営利活動法人行徳野鳥観察舎友の会

TEL:070-1491-9898(直通)

[管理事務所 〒272-0137 千葉県市川市福栄 4-22-11 TEL: 047-397-9046]

E-mail: tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp

URL: <http://gyotokubird.wixsite.com/npofgbo>

編集/鈴木陽子

印刷/株式会社プリントバック



Instagram



twitter

年会費

- ・賛助 3000 円以上
- ・普通 2000 円
- ・電子 1000 円
- ・ジュニア(18 歳以下)500 円
- ・法人・団体 10000 円以上

